

熊本市中心部起点コース

<p>◎ 古都を実感！ 「夏目漱石旧居」坪井周辺探索コース ※ 起点は市電「通町筋」電停です。</p>	<p>約120分</p>	<p>夏目漱石、小泉八雲、横井小楠などが過ごした町。熊本一の繁華街「通町筋」からスタートします。帰り、お土産の買物は勿論のこと、美味しいランチの店も沢山。</p>
<p>◎ ファッションの都を実感！ 熊本城を眺める絶好の繁華街 「通町」探索コース ※ 起点は市電「通町筋」電停です。</p>	<p>約90分</p>	<p>熊本一の繁華街。史跡も多く、小泉八雲旧居などのほか、買物・食事もどうぞ！</p>
<p>◎ 「清正公の治水改修」と 「文豪徳富兄弟」コース ※ 起点は市電「水道町」電停です。</p>	<p>約90分</p>	<p>土木の神様でもある加藤清正公が約3年をかけて構築した広大な農業用水路と徳富記念館をみて廻ります。</p>
<p>◎ 城下町を実感！ 「新町古町」界限探索コース ※ 起点は市電「洗馬橋」電停で、熊本駅前から乗車の場合「呉服町」下車です。</p>	<p>約120分</p>	<p>古い町並みを眺めながら熊本は石工の里・明八橋、高麗門の跡、古城堀端公園(隈本城跡)、明治天皇の碑などをめぐります。買物・食事も出来ます。</p>

熊本市電 洗馬橋電停
肥後手まり唄に登場する「船場山の狸」



「高橋公園」横井小楠を中心とした「維新群像」



熊本城稲荷神社



熊本市役所から眺める「熊本城」



熊本に日本に大きく影響を及ぼした多くの人々が活躍した街【坪井】

詳細を【2/2】に示します。

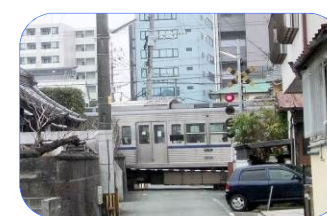
古都を実感！「夏目漱石旧居」坪井周辺探索コース【1/2】

●スタート熊本市電(通町筋電停)～ゴール熊本市電(通町筋電停)(目安約120分)



熊本電鉄に乗ってみませんか？

東京都営地下鉄、東急電鉄、南海電鉄、東京メトロなどで運用されていた色々な電車が譲渡され走っています。時間がありましたら、色々な電車に乗車されると、日本を代表する大都会の東京・大阪を超満員で走行していた状態を想像しながら、熊本のローカルな風景が楽しめます。「藤崎宮前駅」から終点の「御代志駅」まで26分です。日中はほぼ30分間隔です。時間帯によりますが、自転車も乗れます。途中、民家スレスレを走る様子は湘南のミニ江ノ電に乗車の気分になるかもしれません。カーブでキーキーとなる電車の音は正に江ノ電です。
※東急電鉄を走っていた「青ガエル」は2016年2月14日にラストランがあり大勢のファンが詰めかけました。



●中心街「通町筋」電停から坪井スタート地点へ★



●徒歩・・・約15分

「通町筋」電停から熊本城に方向に歩き、「日本郵政グループビル」で右折。清正公が改修された坪井川沿いに歩き、左折するとスタート地点に到着です。

●バス・・・「花園柿原」行きに「市役所前」で乗車。壺井橋で下車。徒歩2分

※「市役所前」バス停は「日本郵政グループビル」と道をはさんでお城側です。

古都を実感！「夏目漱石旧居」坪井周辺探索コース ●【2/2】

●スタート熊本市電(通町筋電停)～ゴール熊本市電(通町筋電停)(目安約120分)

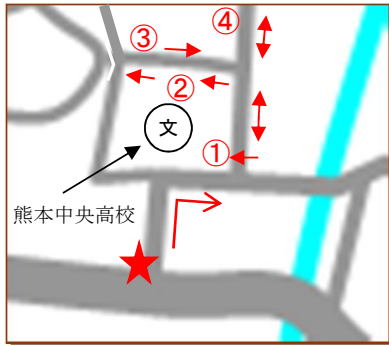
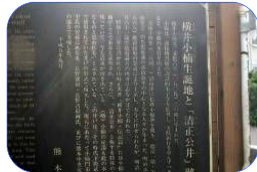
③佐々友房生誕の地

突当たりの敷地の中に説明板があります。友房は現在の熊本県立済々黌高等学校の前身である同心学舎を創立しました。



②横井小楠生誕の地

1809(文化6)年熊本藩士の次男としてこの地に生誕する。藩校「時習館」に学び、抜群の成績で塾長となりました。私塾を開き、最後は「四時軒」(熊本市東区沼山津。電話096-368-6158)としました。坂本龍馬も訪れています。



拡大

①夏目漱石内坪井旧居

1896(明治29)年、第五高等学校(現在の熊本大学)の教師として熊本に来た4年余りの間に6回転居しています。坪井旧居は5番目で一番気に入っていた様で現存しています。長女筆子はここで生まれました。夫婦の堅い絆は熊本の地で育まれました。小説「草枕」「二百十日」などを書いています。

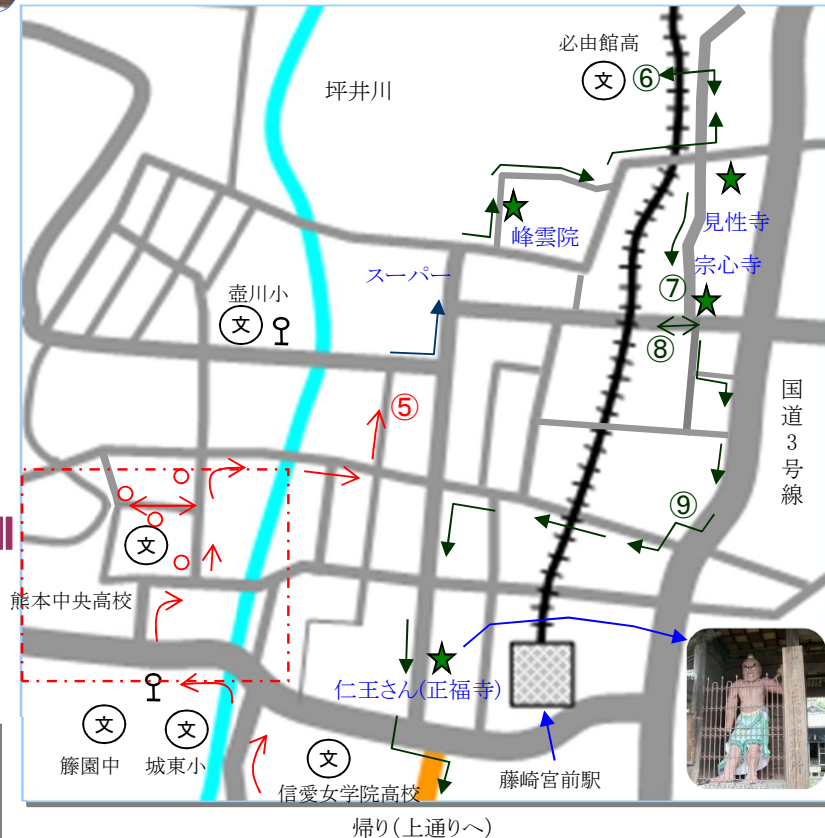
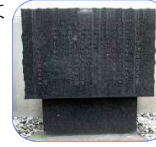
④宮部鼎蔵・旧居跡

尊王攘夷派。肥後勤王党で天下の大勢を知る為、江戸に出向き吉田松陰と親交を深めました。1864年6月池田屋での会談中、新撰組の襲撃を受け自刃しました。



⑤小泉八雲旧居跡

ラフカディオ・ハーン、日本名は小泉八雲。1891(明治24)年、第五高等学校(現在の熊本大学)の教師として熊本に来た第二旧居です。



開館時間 9時30分～16時30分
入館料 高校生以上200円
小・中学生100円
休館日 月曜(祝日の場合は翌日)
電話 096-325-9127



[17/52]

⑥必由館高校内史跡

高校敷地内にある史跡です。団体で見学される場合は高校に事前に電話して下さい。(TEL096-343-0236)

●採釣園

細川五代藩主綱利の時代につくられた庭園です。

●井上毅生誕碑

明治の近代文化功労者。大日本帝国憲法、教育勅語などの起草者として知られています。碑の側に井戸があり産湯として使用されました。



⑦赤鳥居(立田口大神宮)

坪井の象徴の赤鳥居です。参勤交代の途中、藩主はここ出入口で伴揃えをして豊後街道を経て鶴崎(今の大分市)。当時は肥後藩の飛び地から海路で江戸に向いました。

※鶴崎を肥後藩の飛び地にしたのは加藤清正公です。尚、近くに国道3号線が走っています。某大手地図会社やインターネット地図では「薩摩街道・鹿児島街道」と表示されていますが、全く根拠のない表示です。昭和の新道で通称「清水バイパス」の起点です。

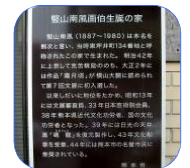


大神宮は赤鳥居の直ぐ側です。



⑧堅山南風生家跡(文化勲章受賞者)

日本画家・横山大観に師事。焼失した日光東照宮の鳴龍を復元しました。小さいですが、説明板が建っています。



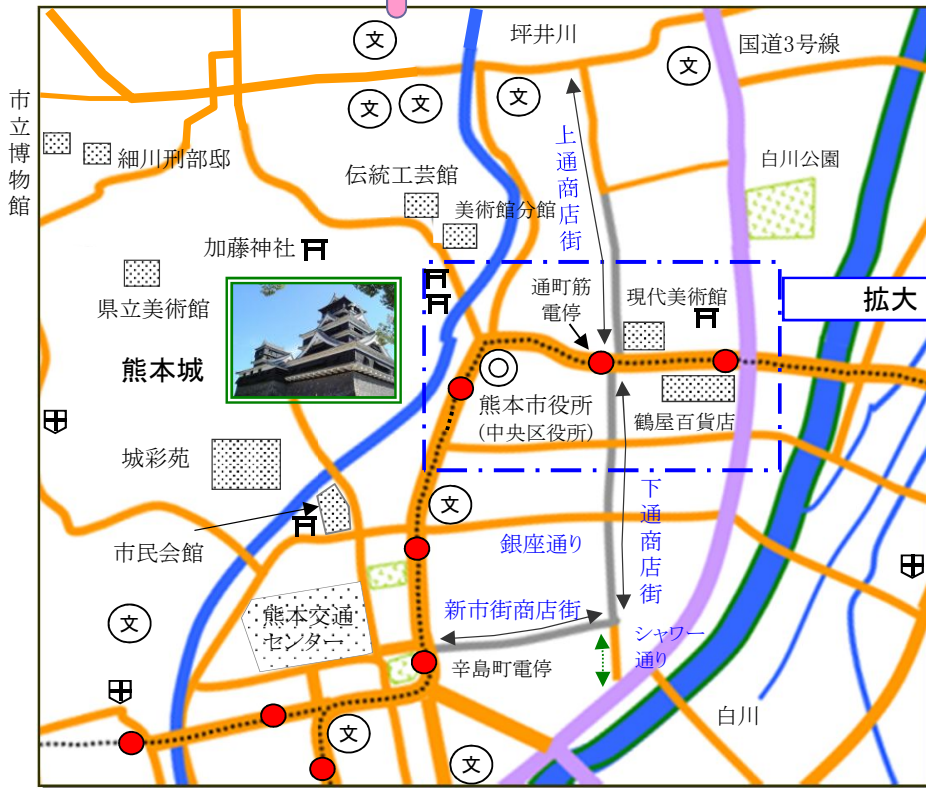
⑨報恩寺

放浪の俳人・種田山頭火は1925(大正14)年にこの寺で出家・得度しました。境内に句碑があります。壺川由来の井戸(境内の奥の東側)。



● ファッションの都を実感！熊本城を眺める絶好の繁華街「通町」コース [1/2]

● スタート 通町筋電停～ゴール 通町筋電停(目安約90分)



〔上通商店街〕
通町筋から北側の約600mの商店街です。通町筋から北の約300mはアーケードとなっています。その北側は青空が見え、樹木が植えられていることから並木坂と呼ばれています。昔、旧制第五高等学校(現在の熊本大学)に近く、学生の街と呼ばれていました。現在も老舗の書店、古本屋や熊本名物のお菓子屋さんなどが営業しており、その面影が残っています。並行してある上乃裏通りにはブティックや居酒屋もあり夜も賑わいます。



上通商店街

拡大
詳細の「通町」コースはページ【2/2】に示します。

〔通町筋〕
南北の上通商店街と下通商店街を挟んで東西に走る電車通り一帯を言う。熊本城を見ながらの一大繁華街です。鶴屋百貨店やパルコをキー店に終日若い人達で賑わいます。



通町筋
(熊本城方面を眺める)

〔下通商店街〕
通町筋から南側の約600mの商店街で、全てアーケード街となっています。更にその南側は青空が見えることからシャワー通りと呼ばれておりお洒落な店舗があります。上通商店街、新市街商店街に挟まれた中心街でも代表的な商店街です。
※現在、アーケードの中央部に複合商業施設が開発中です。2016年度にオープン予定です。



下通商店街

〔新市街商店街〕
辛島町電停から東側のアーケード街で下通商店街との交差点まで約200mの商店街です。庶民的な商店街で、東京で例えれば浅草でしょうか。面的な広がりもあり、接続する栄通り、銀杏通りは飲食店が多く夜も賑わいます。



新市街商店街
(入り口)

〔熊本交通センター商店街〕
地下商店街がありましたが、交通センター一帯は2015年～2018年にかけて再開発されるのに伴い、閉鎖されました。2018年には完成予定です。

★その間バス停留所は暫定的に設置されます。ご注意ください。

熊本市商店街の歌♪♪ 熊本県民にはおなじみの歌です

① 鶴屋百貨店の歌

♪ 鶴屋ラララ、鶴屋ラララ、鶴屋ラララ……ハイセンス鶴屋……♪

② センタープラザの歌 (2018年にまた聞けます様に！楽しみです)

♪ 泉の広場で会いましょうとあなたの言葉を思い出す……♪

〔熊本市中心商店街の特徴〕

重みある集中の街。熊本城を中心にした歴史を感じる上質の街です。街の中心に巨大な日本三名城の熊本城があります。中心商店街の特徴は熊本城を借景とした大型店舗+特色ある小店舗の集合体の街です。お城を見ながら熊本交通センターから鶴屋百貨店に挟まれたエリアには無数の特色ある小店舗の商店街があり、面的な広がりをもった周遊性ある超大規模なショッピングゾーンです。

上通商店街、下通商店街、新市街商店街の大きな商店街が約1.1kmの幅広いアーケードで繋がっており、雨の日も快適に過ごせます。中心商店街は多くの若者が集まり、ここでは高齢化は感じません。熊本弁には「わさもん」という言葉があります。初物とか新しいものという意味で、ファッションにもとても敏感な街です。老いも若きもファッションの街に相応しい人を見かける街でもあります。新ファッションが出たら東京と熊本で反応がみられることも聞きます。

ファッションの都を実感！熊本城を眺める絶好の繁華街「通町」コース ● [2/2]

●スタート 通町筋電停～ゴール 通町筋電停(目安約90分)

①手取天満宮

約350年の歴史。学問の神様・菅原道真公をお祀りしてあります。



徒歩約5分

②小泉八雲旧居

ギリシャ生まれ。1891(明治24)年11月～1894(明治27)年10月。1891(明治24)年、第五高等学校(現在の熊本大学)に英語の教師として来熊し、約3年滞在しています。最初の一年を過ごした旧居で1995(平成7)年に復原されました。

●熊本に来る前、松江市に中学教師としていましたが、1年間の滞在中でした。



徒歩約3分

③九州初の放送局跡

市役所パーキングビルの南西に小さな記念碑があります。

1928(昭和3)年に九州で初めての放送局として開局。NHK九州本部、熊本中央放送局などの呼称変更の上、現在は熊本放送局となっています。1992(平成4)年まで九州・沖縄の8県の管理局でした。



徒歩約4分

④九州電気事業発祥の跡

熊本城須戸口門の手前に説明板があります。1889(明治22)年「熊本電燈株式会社」が設立され九州で最初に電気事業を開始。この地に1891(明治24)年石炭火力発電所が建設され周辺に電燈を灯しました。「熊本電燈」は「熊本電気」→「九州電気」と変遷し戦前は九州の四大電力事業の一つでしたが、配電統制の影響で合併、現在の九州電力となっています。

徒歩約1分



⑤熊本城稲荷神社

1588年加藤清正公が肥後に入国の際、熊本城の守り神として勧請された。400年余りの歴史があります。



徒歩約1分

⑥熊本大神宮

こじんまりした神社。1876(明治9)年に城内に創建されたが、1877(明治10)年熊本城炎上時に類焼、変遷の後、現在地になっています。



徒歩約2分

⑦横井小楠をめぐる維新群像

小楠生誕190年、没後130年を記念して翌2000(平成12)年3月に建立されました。幕末維新期の大思想家小楠を中心に細川護久、松平春嶽、勝海舟、坂本龍馬など実学派に影響を及ぼした人達の像が刻まれています。



⑧谷干城(たにたてき)

1877(明治10)年の西南の役時の熊本鎮台司令長官で熊本城籠城作戦をとった。城内約3500人の官軍に対し、薩軍は13,000人以上と圧倒的に多かったが、一歩も熊本城を攻め落とすことは出来ず、加藤清正公の築城技術が如何に高く、最強の城【熊本城】が実証されました。

西郷隆盛は終焉の地城山で「わしは官軍に負けたのではない。清正公に負けたのだ」と言ったと伝えられています。



徒歩約3分

⑨宮本武蔵使用の井戸

1640年57歳の時、細川忠利の客人として招かれ、1645年62歳でなくなるまで千葉城で過ごしました。熊本では「五輪の書」など今にも通じる書を残しています。●NHK熊本への坂を登りつめた右側の茂みの中に井戸が現存しています。NHKは縮小して花畑町へ新築移転予定。跡地は千葉城跡として整備が期待されます。●武蔵の史跡は熊本市西区「霊巖洞」北区「武蔵塚公園」中央区「立田自然公園」などにあります。



徒歩約4分

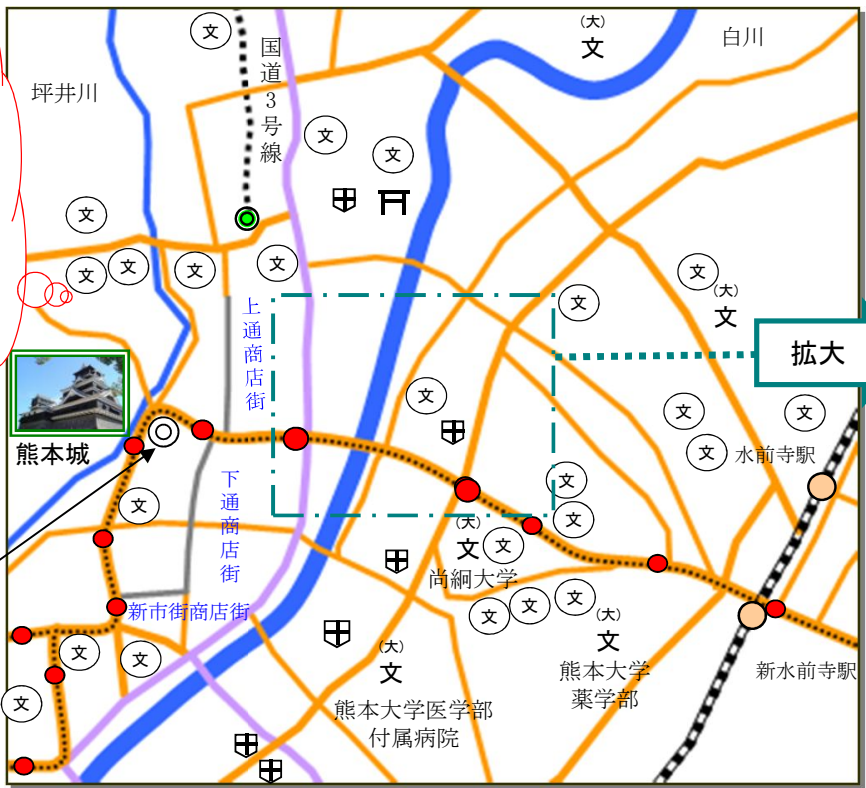
⑩オクス通り
大きな楠の並木が名前の由来です。この地には県立第一高女(現在の第一高)があり、明治41年に運動場に植えられた楠が大きくなったものです。洒落たお店があります。●上通商店街経由「通町筋電停」まで徒歩約5分。



「清正公の治水改修(大井手)」と「文豪徳富兄弟」コース

●スタート 水道町電停～ゴール 九品寺交差点電停(目安約90分) [1/2]

清正公が如何に熊本を豊かに、日本の要にしようと言う思いまで伝わってくる土木事業の一つです。「せいしよさん」に感謝です。



⑤大井手・二の井手分岐点
説明板はありません
④の橋から上流へ約50m程歩くと分岐点があります。



⑥大井手・一の井手分岐点
説明板はありません
⑤の分岐点から更に上流へ約300m程歩き、消防局前の横断歩道を渡ると直ぐ先にあります。左側が一の井手です。



⑥の後、消防局前の交差点を渡り右折、約50m程を左折すると「徳富記念館」です。
【2/2】を参照下さい

水道町電停 徒歩約3分

大井手

土木の神様でもある加藤清正公が約3年をかけて構築した白川の渡鹿堰(熊本大学黒髪キャンパスより少し上流の菅原神社から見えます)からの広大な農業用水路です。現在は市街地に変貌していますが、支流が3つあり一の井手、二の井手、三の井手で水道町から歩かれると400年以上経った井手を全て見ることが出来ます。4つの井手の合計長さは約22kmにもなります。開田に大いに貢献し豊になったことでしょう。

①大井手 説明板はありません
水道町電停から白川の大甲橋を渡ると左にレンタカー店があり、店の前の川が大井手です。大江橋の下を流れています。
白川の渡鹿堰から取水した幹線水路で、熊本大学医学部附属病院、近くの上流で白川に合流しています。2.7kmあります。



②三の井手 説明板はありません
①から50mほど九品寺交差点のバス停のすぐ側を流れています。見落としやすいので注意下さい。
長さ6.3kmあります。最終的に熊本市内南区の天明新川に合流します。



③二の井手 説明板はありません
②から九品寺交差点を左折すると左に「くまもと森都病院」があります。病院の前を二の井手が流れています。
②の三の井手と同じく熊本市内南区の天明新川に合流します。長さ6.5kmあります。



④大井手・三の井手分岐点
説明板はありません
「くまもと森都病院」の駐車場から左折し直進すると大井手川にかかる橋があります。橋から右側が大井手、左側が三の井手です。



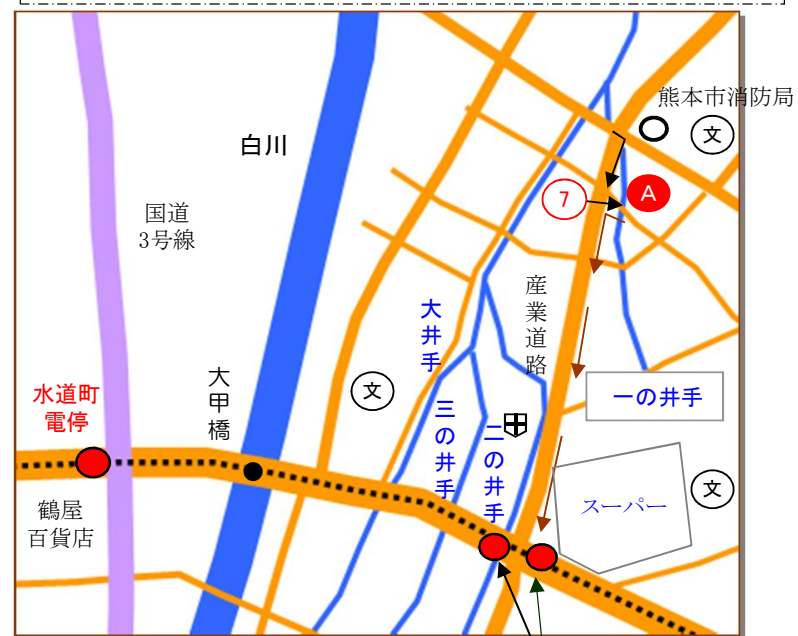
⑦一の井手 説明板はありません
 消防局前の交差点を横断し、右折。約50m程歩くと徳富記念館の案内板が道向こうに見えます。左折すると徳富記念館があり、手前を流れています。市街地を流れるため、途中、かなり蓋がされており熊本市南区の木部川に合流します。長さ6.2kmあります。



一の井手 ← → 記念館

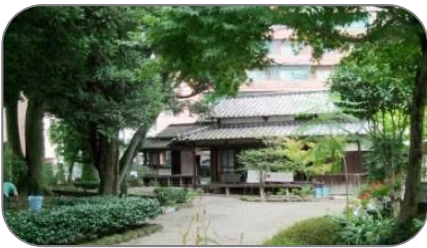
「清正公の治水改修」と「文豪徳富兄弟(徳富記念館)」コース
 ●スタート 水道町電停～ゴール 九品寺交差点電停(目安約90分) [2/2]

徳富記念館から「九品寺交差点」電停へのルート
 産業道路沿いに電車道り方面へ約7分歩くと電停に着きます。尚、電停は熊本駅方面と水前寺・健軍方面は交差点に対して配置されています。



九品寺交差点電停
 蘇峰の師である新島襄から送られたカタルパの木。5月に訪問すると白い花が見られます。記念館手前にあります。

徳富記念館
 徳富蘇峰(1863年～1957年)、徳富蘆花(1868年～1927年)。蘇峰、蘆花の兄弟が1870(明治3)年に熊本県水俣市から熊本市に転居。1886(明治19)年に東京へ転出するまで住んでいたところです。建物は維持管理されてきており、約140年余り経過しています。保存状態はよく、住いの中の見学も可能です。記念館の中にはジャーナリスとして活躍した蘇峰、小説家として活躍した蘆花の貴重な軌跡資料類が展示されています。
 料金:高校生以上200円。小・中学生100円
 電話:096-362-0919
 休園日:月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始
 ●弟の徳富蘆花が「恐ろしき一夜」で書いた1876(明治9)年10月24日の夜発生した(新風連の変)を目撃した中二階も現存しています。
 ●兄の徳富蘇峰は1882(明治15)年にこの地に大江義塾を開設しており、創設期の部屋が残っています。1886(明治19)年に塾を閉鎖し上京するまで教育にあたりました。
 ※多くの若者が継続して学び続けていれば、慶応義塾大学ならぬ大江義塾大学が熊本に誕生していたかもしれません……
 ●明治天皇行在所の一部
 1872(明治5)年6月17日、明治天皇は熊本に巡幸、18日・19日の2晩は「会輔堂」(今の熊本市中央区新町の市立一新幼稚園内)に宿泊されました。その時、厠を新築したが、天皇が使用されなかった為、父の一敬が払い下げを受けて継ぎ足した状態で保存されています。



「蘇峰記念館」は熊本県水俣市の水俣市役所そばにあります。ほとんどが郷土愛に燃えた徳富蘇峰の寄附により建てられたもので築85年ほどになっています。大江義塾時代の資料や蘆花など貴重なものが展示されています。また、徒歩12分程度で蘇峰・蘆花の生家もあります。水俣市の「蘇峰記念館」へのアクセス
 ・[新幹線]熊本駅-新水俣 24分
 ・[在来線ゆつりの旅]熊本駅-新水俣 約110分
 *八代駅乗換え

●徳富蘆花が(新風連の変)を目撃した中二階



●徳富蘇峰が大江義塾を開設した当時の部屋



●明治天皇行在所の一部(未使用の厠の保存)



● 城下町を実感！「新町・古町」界限探索コース 【1/2】
● スタート熊本市電(洗馬橋・呉服町)～ゴール市電(洗馬橋)(目安Max約120分)

<<交通アクセス(熊本市電利用)>>

◎交通センター・上熊本駅からスタート地点の【洗馬橋】へ

◆交通センターから

市電【辛島町】電停から「上熊本駅」行きに乗車
2つ目の電停で下車。約4分

◆上熊本駅から

「健軍」行きに乗車。【洗馬橋】電停で下車
約10分

◎熊本駅からスタート地点の熊本市電【呉服町】へ

◆熊本駅から

「健軍」行きに乗車。2つ目の【呉服町】電停で下車
約6分

●熊本市中央区「新町」について

熊本城の西側にある町で加藤清正公がつくった城下町です。現在、町名は新町に統一されていますが、統一前は「蔚山町」「高麗門町」「塩屋町」「新一丁目」「新桶屋町」「上職人町」「新細工町」「新鳥町」など城下町らしい守り、武家屋敷、職人、商店などが存在した名前でした。

※古町地域が商業の町で栄えていたのに対し、新町は清正公がつくった今風のニュータウンだったと多様な町名より想像できます。

【熊本の童謡】



あんたがたどこさ 肥後さ
肥後どこさ 熊本さ
熊本どこさ 船場さ
船場山には狸がおってさ
それを狸師が鉄砲で撃ってさ
煮てさ 焼いてさ 食ってさ
それを木の葉でちよいとつぶせ



電停「洗馬橋」

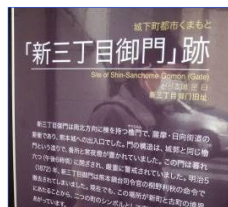
徒歩
約4分

電停「呉服町」

拡大図を【2/2】に示します。

③「新三丁目御門」跡

江戸時代、坪井川に新町三丁目橋と呼ばれていた板橋があり、橋を渡ると新町側に南北方向の棟をもつ櫓門がありました。「新三丁目御門」と言い、熊本城の出入口であり重要拠点でした。1872(明治5)年に熊本鎮台司令官桐野利秋(のちに薩軍に入る)の命で撤去される。また1875(明治8)年に板橋が撤去され石橋になり、また橋名も「明八橋」に変更されました。



橋の側に説明板があり当時の勇壮な御門の絵が書かれています。現存すれば素晴らしい観光資源となったことでしょう。

徒歩約1分

②「明八橋」

名前から想像出来る様に明治8年に坪井川に架設されました。熊本県内の「通潤橋」「霊台橋」、東京の「日本橋」「二重橋」などを架設した熊本の名石工である橋本勘五郎がつくった石橋です。現在は西側に新明八橋が新設されたため、人と自転車のみが通行出来る公園状態に整備されました。



徒歩
約3分

①「明十橋」

すぐ近くの坪井川の下流にある「明八橋」(②に記載)の後、明治10年に熊本の名石工、橋本勘五郎によって架橋されました。橋はアーチ型で勘五郎が手がけた「二重橋」を想像させます。現在も車が往来できる頑丈な橋として利用されています。



[22/52]

〔在来線〕 熊本市電
上熊本方面↑ (上熊本駅方面↑)



市電「洗馬橋」電停の側に「ふれあい親子狸」があります。狸の体を触ってご利益を！



毎年2月16日が誕生祭です

(旧)河原町織維問屋街→アートの町へ
かつて九州一円に卸していた賑やかなところでした。物流の変化で衰退・空き部屋がりましたが、若い人達による特色ある店舗での街おこしで賑わいを取り戻しつつあります。今や貴重な街中の「昭和の町」を実感できます。



眼科としてはとても大きい。遠方からも患者が来院されます。

↑熊本駅方面電停
←通町筋方面電停

④高麗門の跡

JR線(高架になっています)の方向に歩き、線の直前で右折すると約50mの右側に跡があります。熊本城築城時に、加藤清正公が西の守りのため、櫓門を29設けました。1872(明治5)年、薩摩出身の鎮台司令官・桐野利明が高麗門、新三丁目門などを次々に壊し、現在礎石しか残っていません(現存していれば29もの壮大な櫓門で世界遺産になっていたかも?かもしれません)。利明はこの5年後に勃発した西南戦争で薩摩軍の指揮官になり、戦死しました。



徒歩
約8分

⑤明治天皇の碑

高麗門の跡から徒歩約8分で市立「一新幼稚園」の門に到着します。「明治天皇の碑」は幼稚園の中にあります。門の外から見学下さい。団体などで中に入りたい場合は幼稚園に確認して下さい。電話 096-322-9525
1872(明治5)年6月17日、明治天皇は熊本に巡幸、小島に宿泊された。18日・19日の2晩はこの地にあった「会輔堂」に宿泊され、医学校・洋学校・鎮西鎮台・成趣園など視察されました。20日夜に熊本を離られました。この5年後に西南戦争を起こした西郷隆盛も同行しています。この時を記念して碑が建っています。尚、「会輔堂」には勝海舟、坂本龍馬も宿泊しています。



↑幼稚園内にある碑



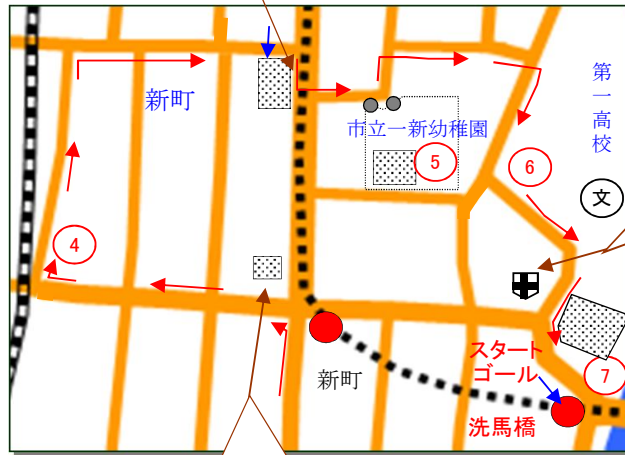
↑幼稚園の門から見た碑



江戸時代の末期から続いている老舗の薬屋さんです、「肥後の諸毒消丸」と電車通り側に大きな看板があります。建物も歴史を感じるものです。入口は電車通りにはなく、↓の部分で薬を販売されています。

〔在来線〕
上熊本方面↑

熊本市電
(上熊本駅方面↑)



新町のシンボルとも言うべき熊本で最も古い書店です。明治7年創業。1階が書店、2階は喫茶ルーム。市電を見るのに2階はいいスポットです。



城下町を実感! 「新町・古町」界隈探索コース ● 【2/2】

●スタート熊本市電(洗馬橋・呉服町)～ゴール市電(洗馬橋)(目安Max約120分)

徒歩
約1分

「洗馬橋」電停



日本で一番赤ちゃんが誕生する病院です。豪華ホテルを思わせる病院です。

熊本
中央郵便局

熊本市電
(熊本城前
通町方面→)



⑦「船場柳御門」跡

電停の目の前、中央郵便局のポストの近く、船場橋側に説明板があります。熊本城下の南の守りです。船場橋から山崎町方面を監視する関所門の跡です。坪井川沿いには、後に土居「船場山」が築かれ、柳が植えられていたことから「柳の御門」と呼ばれていました。



徒歩
約3分

⑥古城堀端公園(隈本城跡)

現在の熊本城が出来る前、この地一帯に隈本城がありました。1588年加藤清正公が肥後の地に来た時は隈本城でした。隈本城の城主は鹿子木親員→城親冬→城親賢→城久基→佐々成政→清正公でした。清正公が通説1601年～1607年にかけて茶臼山一帯に築城したのが現在の日本三名城の熊本城です。現在、隈本城は古い石垣のみが残っており、堀は段山の土砂、水害の廃土で埋立てられて公園となっています。



徒歩
約4分



↑幼稚園の門側の案内板